

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

令和2年12月25日発行

発行者：校長 小貫 崇明

第18号



○いつもより短いけど**重要な冬休み**です

12月26日(土)からの冬季休業は、例年よりも短く1月4日(月)までの10日間です。もちろんこれは、新型コロナウイルス感染症拡大により長期に及んだ臨時休業の遅れを取り戻すための措置で授業数を確保するためのものです。しかし、休みが短くすぐに学校が始まるとはいえ、例年よりも、多くのことに気をつけなければならない重要な冬休みであることを、子どもとともに我々大人も気をつけなければならないと思います。子どもたちと一緒に、ぜひ次のことを確認して冬休みを迎えて下さい。

① 新型コロナウイルスに絶対に感染しないよう気をつけて過ごす冬休み

人混みを避け、外出する場合は計画性を持って短時間で効率的に

② 一緒にいることが多い家族との絆を深める冬休み

何気ない会話だけでもお互いの理解につながります。

③ ゲームやSNS、夜更かしなどで生活習慣を乱さない冬休み

ゲームやYouTubeを見ていたら朝になったなんて絶対だめです。

④ 冬の道路・歩道での交通事故や怪我などに十分気をつける冬休み

今年の冬は寒さが厳しいようです。近所の危険箇所はわかっていますか？

⑤ 9年生とその家族にとっては「進路を決める」冬休み

人生最初の大きな壁を家族と一緒に突破できるよう頑張ってください。



以上の点に気をつけて、短くても充実した冬休みを過ごし、すばらしい令和3年を迎えられることを心から願っています！！

○第3回稲田学園地域運営協議会

12月16日(水)、稲田学園第3回地域運営協議会を開催しました。今回の協議会では、まず校長より、新型コロナウイルス感染予防を最優先にしながらも進めてきた2学期の学校の様子や「学校評価アンケート」の結果、今後の改善案等について説明しました。また、義務教育学校への移行に伴う校歌の扱いについて委員の皆様からご意見をいただきました。稲田小・中学校の校歌を大切にしながら、新たな愛唱歌『Home』を稲田学園の新たな校歌とすることにご理解いただきました。



続いて、2学期の新型コロナウイルス感染症への対応、地域とともにある教育の推進、児童生徒の登下校時の事故防止などについて、委員の皆様から具体的な課題や改善策などについて様々なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしてまいります。

○長谷川ファミリーほのぼのコンサート



12月21日(月)、「長谷川ファミリーほのぼのコンサート」を開催いたしました。このコンサートは福島県退職教職員互助会の事業で、子どもたちのために生の音楽やバレエを楽しんでもらおうという鑑賞教室です。長谷川朝子さん(ハープ)と娘さん(バイオリン)、息子さん(チェロ)の親子を中心に、ピアノや打楽器奏者が加わり、本物のバレエダンサーが踊るといった内容です。本校が小中一貫教育校のため1年生から9年生までの子どもがいるということで、なんと1～3年生、4～6年生、7～9年生の3回に分け、学年に合った曲にかえたり、クイズ、バレエ体験などを取り入れたりした楽しいコンサートにさせていただきました。実は縁があって校長は長谷川ファミリーの皆さんとはかつて一緒に演奏させていただいたことがあり、今回も一部共演させていただきました。子どもたちの反応を見ながら演奏ができて、本当に幸せでした。

7～9年生対象のコンサートでは、稲田学園男声合唱団「グリーン」が飛び入り参加し、すばらしい歌声を披露しました。長谷川ファミリーの皆様のおかげで、稲雲ホールが楽しい音楽に満たされたすばらしい一日になりました。



○岡本真夜さんが稲田学園にサプライズで登場！！



12月24日(木)の夜、BSテレビ東京で放送された『～想いを届ける～クリスマスサプライズ!2020』という番組で、稲田学園が紹介されました。本校の愛唱歌『Home』の作詞をして下さった歌手の岡本真夜さんが稲田学園をサプライズで訪問し、5年生の子どもたちと交流した場面を紹介していただきました。ご覧になりましたか？

★ことばのちから(18)「山に登るルートはたくさんあるのだから、自分の成功体験を押し付けてはいけない」

メジャーリーグで活躍した野茂選手やイチロー選手を育てた日本のプロ野球の名監督、仰木彬(おおぎ・あきら)さんの言葉です。教えるということを生業(なりわい)にする私たち教員にとっても、示唆に富む言葉です。指導する大人が、効率を求め「これさえやれば〇〇になれる」とか「私の言うことだけやればいい」などと、自分の判断基準や経験に基づいた指導のみを子どもに押しつけてしまえば、山に登らず逆に山を下る子どもも……。

だからこそ、義務教育9年間にたくさんのルートを示せる稲田学園にしたいのです。

須賀川市立小中一貫教育校 稲田学園は、令和3年4月から義務教育学校へと移行します！！

- 学校目標は「やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子」(今までと同じです！)
- 小中一貫教育校としての3年間の実践を生かし、これからも地域の宝である子どもたちを育てる本校は、「9年間の学び、9年間の一体感、そして9年間の感動を創造する学校」としてさらに発展していきます。どうぞご期待下さい！